

## 電子シラバス管理システムを 利用した教育内容の点検

本間 和代（教務部）

### 1. 補助事業の取組状況

平成17年度は、電子シラバス管理システムを利用して組織的にシラバス情報の確認・編集作業に取り組んだ。そして学内ネットワーク上で電子シラバスの公開を行い、本学学生もシラバスが閲覧できる環境が構築された。

また、シラバスと直結する授業時間割表のフォーマットを作成するとともに、学内にインフォメーションボードとして使用できる大型ディスプレイを設置し、授業時間割表を公開できる環境を整備した。

### 2. 補助事業の成果

シラバスの公開により、教科の目標・内容・指導計画などの点検が可能となり、前年の反省を次年度以降のシラバスにフィードバックするという発展循環型の点検システムを構築することが実現した。

シラバス管理システムを利用して冊子を作成することにより、パソコンを利用しない学生に対してもシラバスを配布することができた。

授業時間割表の公開により、シラバスの適正な運営の点検が可能となり、本学の教育の質の向上が推進される環境が整備された。

## 視聴覚教育資料の画像Webデータベース化

佐野 裕子（図書館）

### 1. 補助事業の取組状況

平成17年度の取組状況は以下のとおりである。

- 1) 画像Webデータベースのデータ構造・フォーマットの考案。
- 2) 画像Webデータベース構築用機器の整備。
- 3) 各画像データへのタイトル・カテゴリー・キーワード・コンテンツの登録。

### 2. 補助事業の成果

- 1) 今まででは外注でデジタル化を行っていたが、デジタルデータ作成用機器の導入により、ローコストで気軽に作成できる環境が整備された。
- 2) 図書館へのCD-ROM・データベース閲覧用機器の導入により、教育資料図書館としての機能が充実するとともに、教育現場と図書館との関係を密着させる足がかりとなった。